

湖東・湖北

毎月第3日曜日発行

2023 12月号

Vol.169

毎日ナビ



毎日新聞湖北ブロック会 協賛

毎日新聞湖北ブロック会事務局 (毎日新聞長浜販売所)

滋賀県長浜市小堀町 347-5 TEL.0749-62-0954

制作 オフィスいしやま (毎日新聞大津販売)

湖北

首都圏で長浜市の観音文化を発信する「東京長浜観音堂」(東京都中央区日本橋)の第4期展示に正妙寺(同市高月町西野)蔵の千手千足観音立像の出陳が決まった。

千手千足観音立像は江戸時代の作で、像高42・1センチ。かつて同寺にあった千足観音像が戦火に遭った後、江戸期に復興されたものとみられる。鎌倉時代の天台宗系図像集「阿婆縛抄」「白宝抄」に「千足観音」の記載があり、この



東京長浜観音堂に出陳される千手千足観音立像=長浜市提供

長浜

千手千足観音、東京にお出まし 正妙寺、江戸時代の作

像が伝わる背景に天台密教の影響があったことが分かるという。

像は木造で、他に例のない「千本の足」を持つことが特徴。上半身は裸形で腰布を着用し、両脚は膝頭が出ている。頭上には10の小面が並び、中央に仏面が一段高く載っている。

第4期は今

年度最終展示で2024年2月1〜29日。午前10時〜午後6時。月曜休館(祝日の場合その翌日)。入場無料。

【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東



てだのふあ祭で披露されたウッドデッキ

彦根

リーススクールにウッドデッキ 「てだのふあ」多賀町産のスギ使用

リーススクール「てだのふあ」(彦根市京町1、山下吉

和代表)に彦根ロータリークラブ(渡辺僖子会長)がウッドデッキを寄贈した。スクールに隣接する300平方メートルの「てだ農園」に、食事や休憩ができる場所として作られた。

デッキには、多賀町産のスギ材を使用。10月上旬にクラブ会員とスクール生徒が力を合わせ、木材塗装、くぎ打ちなどを徐々に進めた。同28日に楽器演奏や模擬店を楽しみ「てだのふあ祭」が開かれ、ウッドデッキの贈呈式もあった。山下代表は「念願かない感謝でいっぱいです」とあいさつ。渡辺会長は「子どもたちを支えていきたい」と応えていた。

【彦根通信部・伊藤信司】

ものづくり TECH 2023 湖北中心 26社が技術披露

長浜

湖北の製造業を紹介する展示会「長浜ものづくり TECH 2023」が11月24、25両日、長浜市高田町のさざなみタウンで開かれた。技術カアピールや製品・商品のPR、企業間の交流などを目的に長浜商工会議所が昨年企画し、2回目。中高生や就職を控える学生に向けた地元企業の魅力発信も狙う。



入場者でにぎわう「長浜ものづくりTECH 2023」

「手で触れることができる文化財」としてPRしている。ほかに「扶桑工業」の医療ロボット部品や「シガウッド」のびわ湖材などが並んだ。また、今年おもちゃ大賞に選ばれた「浅尾」の木製ブロック「ズレンガmini」の体験ブースも設けられ、にぎわった。

【長浜通信部・長谷川隆広】

フジテックで配送ロボット エレベーター使い書類お届け

彦根



フジテック本社HPより

大手エレベーターメーカーのフジテック(本社・彦根市)はロボットを使った社内自動配送を始めた。業務省人化とロボット連携技術の追求を目的にしている。

本社オフィスでは9月から、赤い車体のロボットが書類集配を担っている。まず書類を収納したロボットが発発。エレベーターを自動で呼んで乗り込み、目的のフロアまで移動する。愛らしい目玉を光らせながらビル間を走って目的地に到着。その職場でQRコードをかざせば車体の扉が開く、といった流れだ。

【彦根通信部・伊藤信司】